

# 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善のポイント (図画工作)

福島県教育委員会では「学校教育指導の重点」という冊子を作成し、各教科等の「学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善のポイント」について解説しています。その中の小学校図画工作科の内容を紹介しますので参考にしてください。

## ポイント1

### 児童の実態と教材の価値を踏まえた指導計画の作成

- 題材設定にあたっては発達段階や児童のしたいことや表したいことを考慮し、つくり出す喜びを味わえるようにしましょう。
- 各段階の内容の連続性に配慮し、育成する資質や能力と学習内容との関連を明確にしましょう。
- 鑑賞と表現のバランスと関連性、及び〔共通事項〕の観点による題材や授業のねらいの系統性を考慮して指導計画を作成しましょう。
- 創造性をはぐくむ造形体験の充実に向けて、〔共通事項〕の視点から活動をとらえ、形や色などによるコミュニケーションを指導計画に位置付けましょう。



## ポイント2

### 「感じる」ことをベースとした「発想力・表現力」の向上を目指す授業の展開



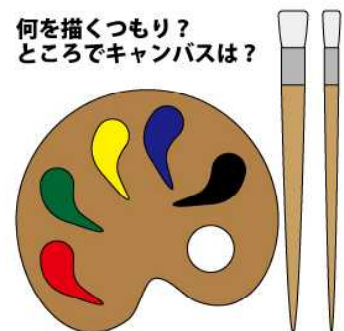
- 育成する資質や能力と学習内容との関連を明確にして、授業のねらいを設定しましょう。
- 視覚や触覚など感覚を十分働かせる時間を確保し、能動的な活動ができるように工夫しましょう。
- 発想力や表現力を身に付けさせるための、具体的な手だてや支援を講じましょう。
- 材料・用具や表現方法について幅を持たせ、自己選択や自己決定ができるようにしましょう。
- 必要に応じて共同してつくり出す活動を取り入れることにより、相互の交流を図り、様々な発想やアイデア、表し方があることに気付かせましょう。

## ポイント3

### 「授業のねらいの達成を目指す言語活動」の授業への位置付け

- 形・色彩・イメージなどの〔共通事項〕の視点で、授業のねらいを達成する手だてとして「言語活動」を位置付けましょう。
- 発想段階や鑑賞活動の場面などにおいて、表現したいテーマやイメージを言葉や文章で表したり、他者の多様な見方や感じ方に触れたりして、自らの考えを深められるようにする。
- 材料や場所の特徴、表したいことや用途などについて、考えたことを伝え合ったり、形や色、材料の感じなどを生かしたりして表現するなどの学習を一層重視しましょう。

何を描くつもり？  
ところでキャンパスは？



## ポイント4

### 評価の工夫改善



- 授業のねらいを達成するための具体的な手だてを設定した上で、指導を行ったことについての評価を行いましょう。
- よさを認め合う評価や改善点が明確になるような評価に努め、次時の表現意欲につながるような自己評価や相互評価を行いましょう。
- 取組の過程を視覚的に捉えられる写真やビデオなどの記録を活用し、評価に生かしましょう。